

ほこ  
「山・鉦・屋台行事」

平成28年登録



鉦 菊慈童

国指定重要無形民俗文化財  
八代妙見祭の  
神幸行事



亀蛇

○八代妙見祭って何？

八代妙見祭は、八代市妙見町にある八代神社（妙見宮）の秋のお祭りです。このお祭りは、11月22日に神輿を中心とした行列が神社から御旅所（神様が休憩するところ）の塩屋八幡宮（八幡町）に向かう「お下り」と、翌23日に塩屋八幡宮から八代神社へ戻る「お上り」を中心に、約1か月間行われます。



八代神社（妙見宮）

23日の「お上り」では、40の出し物とお供をする約1,700人が1.5kmの行列を作り、塩屋八幡宮から八代神社まで約6kmの道のりを練り歩くだよ。



○いつから始まったの？

八代妙見祭は、約500年前の室町時代には行われていたことが昔の記録から分かっています。

また、約380年前の江戸時代に八代の城下町の人々がお祭りの行列に獅子や花奴、鉦、亀蛇（通称・ガメ）といったいろいろな出し物をだすようになり、今の祭りの形になりました。



花奴



神馬

○40もある行列の出し物！

八代妙見祭の行列は、妙見神（八代神社の神様）が海を渡る際に乗って来たという亀蛇や中国風の獅子、様々な飾りが付いた豪華な9基の鉦等、40もの多彩な出し物が参加します。

これらの出し物の等は、江戸時代に描かれた「妙見宮祭礼絵巻」をもとに、できる限り再現されています。



獅子舞



鉦

【地図】



【お問合せ先】

- ・熊本県教育庁文化課(TEL：096-333-2707)
- ・八代市経済文化交流部文化振興課(TEL：0965-33-4533)

☆妙見祭の詳細や動画は「くまもと伝承芸能情報サイト」で見ることができます！

写真提供：八代妙見祭保存振興会

